

## 【2010年の営巣状況】

≫**営巣は5つがい！ヒナ合計28羽が巣立ち！活動の成果か！？**≪

2010（平成22）年7月19日、十三崖のすべてのチョウゲンボウのヒナが巣立ちました。営巣数は5で、昨年より1つがい増加しました。5巣すべてで繁殖が成功したのは、12年ぶりになります。

近年、世界的にも3、4か所しか記録がない崖地の集団営巣地の中で、十三崖の営巣数が増加してきていることは、世界的にも、また地域としても、貴重な環境を残すことにとって大きな前進になります。

巣立ったヒナは合計28羽で、最上流側の巣では8羽のヒナが巣立ちました。これは、世界的にもかなり多いヒナ数です。また、2006（平成18）年の環境整備で掘削した巣穴が、最下流のつがいによって初めて利用され、無事にヒナを巣立たせました。

昨年は4つがい、今年は5つがい営巣と、徐々に営巣数が増加しています。これは、これまで応援団や中野市等で行ってきた整備・保全活動が、一定の効果を見せ始めた結果ではないかと思われます。

